

診療科目 ● 臨床検査医学

プログラム責任者：山崎 悦子

附属病院	
准教授	山崎 悦子 (臨床検査部長)
助教	住友 みどり、桐越 博之、高野 桂子、白石 洋子
附属市民総合医療センター	
教授	宮島 栄治 (臨床検査部長、臨床検査医学教授)
准教授	住田 晋一
助教	康 芸

本プログラムの特徴

本プログラムは、

- 1) 臨床検査医学および当大学附属の両病院の将来を担う臨床検査専門医を目指す医師
- 2) 将来、地域医療機関の指導者、あるいは臨床検査技師の指導・監督をするための臨床検査専門医、あるいは臨床検査管理医を目指す医師
- 3) 超音波検査等の生理学的検査あるいは遺伝子検査等検体検査について、技術習得や理解を深めたいと考えている医師を対象としている。

両病院は、それぞれの特徴を有しており、希望に応じての配置が可能であり、また、両病院での後期研修も可能である。さらに、初期研修を修了した直後の医師だけでなく、既に他の分野で専門医資格を有した後であっても、また、社会人コースの大学院博士課程の医師も歓迎である。尚、他分野の専門医資格を有する場合は、臨床検査専門医試験受験資格取得のための研修期間が短縮され、選択科目も免除される。

目 標

臨床検査領域全てに関して、2年間の初期臨床研修終了後、定められた研修カリキュラムにより3年以上の専門医研修を修め、資格試験に合格すると臨床検査専門医として認定される。

一般目標 (GIOs)

- 1) 基本領域における知識と技能 (サブスペシャリティ領域の基本的能力) を習得する。
- 2) 臨床検査室のマネジメントを最適に指揮することができ、臨床検査が適切に行われ、検査結果の質、臨床的妥当性・有用性を保証する能力を習得する。
- 3) 診断的検査開発のための種々の方法、検査の活用、検査結果の解釈を理解し、医師にコンサルタントできる能力を習得する。
- 4) 心電図などの生理機能検査を検査室で実施する場合、その管理を適切に行うことができ、患者病態を反映する検査結果となっているかを検証し、医師にコンサルトできる能力を習得する。



臨床検査管理医のための目標 (GIOs)

上記2)と予防医学分野・行政関連ならびに登録衛生検査所の業務に関して、指導・監督できる能力を習得する。

目標とする学会認定専門資格

日本臨床検査医学会臨床検査専門医  
(日本臨床検査医学会臨床検査管理医)

診療科のホームページ URL	担当者・連絡先
<a href="http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~urakensa/">http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~urakensa/</a> <a href="http://www.fukuhp.yokohama-cu.ac.jp/patient/guidance_of_the_medical/central_section/bumon.html#02">http://www.fukuhp.yokohama-cu.ac.jp/patient/guidance_of_the_medical/central_section/bumon.html#02</a>	宮島 栄治 ycuem@yokohama-cu.ac.jp 山崎 悦子 etsukoy@yokohama-cu.ac.jp

診療科の実績

附属病院実績

検体検査：一般検査 218,396件、血液学検査 654,167件、生化学・免疫学検査 3,893,722件、微生物検査 50,447件、遺伝子検査(生化学に含む)、緊急・時間外検査(生化学に含む)  
 生理機能検査：心電図・循環器系 23,432件、呼吸機能 3,055件、脳波・筋電図 1,864件、超音波 12,483件

外来採血患者数：136,043名  
 (年間患者数：外来 471,404名、入院 209,760名)

附属市民総合医療センター実績

検体検査：一般検査 246,542件、血液学検査 582,734件、生化学・免疫学検査 3,920,197件、微生物検査 58,486件、遺伝子検査(生化学に含む)

生理機能検査：52,548件  
 外来採血患者数：128,736名  
 (年間患者数：外来 484,593名、入院 239,145名)

指導医から一言

附属病院臨床検査部は国際基準であるISO15189認定を取得しており、質の高い国際治験にも対応できる検査部です。中央部門であるが故に各診療科にとらわれず横断的な研究が専門家である検査技師とともに出来ることは、臨床検査部の大きな強みです。私自身は血液内科専門医/指導医ではありますが、そのような内科的疾患のバイオマーカー関連の研究のみならず、生理学的検査や感染管理学の習得など多方面にわたる目標をもって研修できる点も検査部の良い点です。

(附属病院 臨床検査部長 山崎悦子)

平成29年度からは新しい専門医制度での研修プログラムとなります。当大学で臨床検査専門医資格取得を目指すなら今がチャンスかもしれません。

(市民総合医療センター 臨床検査部長 宮島栄治)

シニアレジデントからのメッセージ

(現在在籍者なし)